

目で見る資料 // 特色ある学習環境

高原の空、ひかる風……。昭和63年4月、旧草野中、飯樋中の統合により飯館中学校がスタートし、校歌も共に誕生した。村民十年來の悲願が実り、村の中央部に白い時計塔をもつ斬新な学舎が出現したのである。

豊かな、暖かい心の持ち主を育むことができるよう、内部は木材を多く使い、柔らかさや暖かさに満ちたゆったりとした特色のある校舎である。外見は整ったが、一人一人の生徒への教育内容の充実をはかるべく地域、親、教師が一体となり努力中である。

〔高冷地に適した屋根付きプール〕



海拔496mの高地だが、ビニール屋根のプールは、5月～10月上旬の長期間にわたって利用できる。

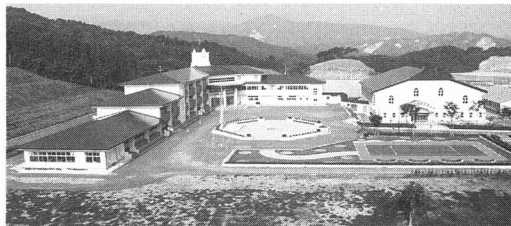
〔本校自慢の一つ、多目的ホール〕



265㎡の多目的ホールは吹き抜けとなっており明るく、床暖房つきで冬でも暖かい。昼休みや放課後は生徒に開放している。

相馬郡飯館村立飯館中学校

〔広大な敷地と当校のシンボル時計塔〕



広大な校地に屋外ステージやプレーコートの設置と校庭からも見える白い時計塔、植栽など、調和のとれた環境整備に努めている。

〔集会等に利用される屋外ステージ〕



屋外ステージは学年集会や生徒のいこいの場として、プレーコートは放課後の部活動などに利用されている。

〔木材を多用した内部・展示ホール〕



展示ホール、廊下や教室の腰板など、木肌の柔らかさを生かした校舎内。ガラスはすべて複層ガラスなので、冬でも快適。